

能楽を
次世代へ

2023年
11月11日(土)
12時開演(11時30分開場)

■ 入場料(全席自由)

一般 3,000円
学生 1,500円

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料会で

チケット販売



■ チケット取扱

京都観世会館 窓口・電話・インターネット

■ 会場

京都観世会館

075-771-6114

<http://kyoto-kanze.jp>

京都市左京区岡崎円勝寺町44

■ 交通アクセス

京都市営地下鉄:東西線「東山」駅下車、①番出口から徒歩5分
京都市バス:5系統「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車、徒歩3分
31 46 86 201 202 203 206系統「東山仁王門」下車、徒歩5分
※お車で越しの方は、会館東隣の有料駐車場、または
岡崎公園市営地下鉄駐車場等をご利用ください。



主催 公益社団法人京都観世会

伝新面公

DENSHO NO KAI

能「経正」 吉田学史

京都の仁和寺の僧・行慶は、一の谷の合戦で討ち死にした平経正を回向するため、琵琶の名手・経正が愛用した名器・青山を仏前に供え、弔いのための演奏・管弦演奏を催します。その楽曲に引かれるように経正の霊が現れ、懐かしく琵琶を弾き夜遊を楽しましますが、修羅道に堕ちた苦しみに襲われあさましい姿となり、その身を脱して暗闇に消え失せます。

狂言「附子」 茂山慶和 茂山鳳仁

主人は、太郎冠者・次郎冠者を呼び出すと、居間にある桶の中に、附子という猛毒があるから大切に番をするように言ってお出かけます。附子が気になってしかたがない二人は、用心して桶に近づき、その中のをのぞき、食べてみると、それはお砂糖だったので、あまりおいしさに全部食べてしまった！もうすぐ主人が帰ってきます。二人が考え出した言い訳とは？

能「小鍛冶」 分林桜子

不思議な夢を見た一条天皇の勅を受けた桶造成は、小鍛冶・宗近に剣を打つように命じます。宗近と同等の力で相槌を打つ者がいないと困っていると、不思議な少年が現れ剣の威徳やヤマトタケルの物語を語り、宗近を励ますと、自分が相槌を勤めると約束し稲荷山に消えます。宗近が鍛冶場を整え祈りを捧げる中、稲荷明神のご神体が現れ、相槌を勤め、見事に剣を打ちあげるのでした。



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

竹生島 (仕舞)
 俊成 忠度 キリ
 田茂井律朗
 味方 遙
 河村 和嘉
 河村百々愛

弓八幡 (舞囃子)
 高良明神 寺澤 拓海

大鼓 河村凜太郎 太鼓 前川 光範
 小鼓 大倉伶士郎 笛 杉 信太郎
 (通鼓) 宮本 茂樹
 浦部 幸裕
 浦田 保親
 橋本 光史

経正 (徒)
 平松正 吉田 学史

徳郡行慶 宝生 尚哉
 大鼓 河村凜太郎 小鼓 吉阪 倫平 笛 杉 信太郎
 (後見) 吉田 篤史 谷 弘之助
 大江又三郎 河村浩太郎 橋本 忠樹 河村 晴久
 (通鼓) 松野 浩行
 杉浦 豊彦

胡蝶村 (仕舞)
 岩花 羽衣 胡蝶 月船
 キリ キリ
 梅田 祥隆
 吉浪 咲紀
 大江 琴理
 林 小梅
 大江 真桜

四海波 (独舞)
 井上 裕久 小鼓 林 眞依子
竹生島 大江 信行 小鼓 上田 航平

吉野天人 (舞囃子)
 天人 深野 百花

大鼓 河村裕一郎 太鼓 前川 光範
 小鼓 林 大和 笛 杉 信太郎
 (通鼓) 宮本 茂樹
 松井 美樹
 浦田 保浩
 深野 貴彦

清経 (仕舞)
 屋島 絹 林 彩八子
 河村 梓姫
 深野 和奏

春日龍神 (舞囃子)
 藤井 橘 緑葉

大鼓 河村裕一郎 太鼓 前川 光範
 小鼓 林 大和 笛 杉 信太郎

賀茂 (仕舞)
 生田 敦盛 キリ
 天鼓 山 吉田 和史
 味方 慧
 橋本 充基
 吉浪 和紗

体組十五分

附子 (狂言)
 太郎冠者 茂山 慶和
 次郎冠者 茂山 鳳仁
 主人 茂山 虎真

大鼓 山本 寿弥 太鼓 中田 一葉
 小鼓 久田 杏海 笛 森田 保美

江野島 (仕舞)
 清経 玉之段 殺生石
 キリ
 浅井 風矢
 片山 峻佑
 味方 梓
 青木真由人

小鍛冶 (四時垣)
 種彦明神 分林 桜子

三金次郎 小林 努 大鼓 山本 寿弥 太鼓 中田 一葉
 小鼓 久田 杏海 笛 森田 保美

附役言 (後見) 分林 道治 大江 拓海
 (通鼓) 寺澤 拓海
 大江 泰正 片山九郎右衛門
 河村 晴道

「伝承の会」は、

次世代を担う者たちが活躍する場です。

(紫字は次世代の出演者)

仕舞 能の一部(見せどころ)を、椅姿で、謡にあわせて舞う。

舞囃子 能の一部(見せどころ)を、椅姿で、謡と囃子にあわせて舞う。

笛 能の楽器の中で唯一メロディーを奏でる。能管は竹製(深竹)。

大鼓 楽器の一つ。革は馬皮、胴は桜。革は乾燥が必要。太鼓 打楽器の一つ。革は馬皮、胴は桜。革は乾燥が必要。

後見 登場人物をサポートする重要な役割があり、舞台後方に座っている。地謡 数人でまとまって謡をうたい、情景や心情を表現する。

募集中
第10期
ワンコイン
サポーター
 次世代の能楽師を応援する会

○許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。○客室のご飲食、携帯電話のご使用はできません。○上演中は、携帯電話など音や光を発する電子機器の電源はお切りください。○公演中止の場合を除き、入場券ご購入後の払い戻しはできません。○都合により出演者その他が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。【表紙写真】分林桜子、吉田学史(京都観世会館)